

しんめいばら

回 覧

第 199 号
2021.11.20

臨時整備！

十月三十一日（日）臨時の整備となりましたが、会員十六名の参加により市より配布をいただいた、葉ボタン、ピオラ、ノースポールなどの苗を二カ所に円形花壇に植栽しました。また十年前に円形花壇の外周に植えたスイシヨウランが大きくなったため、根が張り高齢の会員にとって大変困難な作業でしたが、一旦掘り起こして株分けを行いました。作業終了後には雨が降り出しましたが、集会所入り口前の休憩スペースでお茶とお菓子をいただきながら疲れを癒すことが出来ました。



掘り起こしは大変な作業でした！

トイレ新築！



解体を待つトイレ！

昭和四十五年の公園設立時に設置されたトイレがこの度解体され、バリアフリートイレが建設されることになりました。これまで公園を訪れた方や、近隣の道路工事や並木伐採作業にきた作業員など多くの方に利用されてきましたが、ドアが大変重く開閉の困難さによるトラブルなども度々あり、長年改修の要望を行ってききました。新築により公園の利用に更に弾みがつくものと期待されます。工期は来年三月初旬までで、その間利用が出来ませんのでお知らせいたします。

豆知識！

『護国神社のイスノキ』

イスノキは、静岡あたりでヒヨンの木とも呼ばれます。イスノキにできるイチジク型の虫こぶを吹いたときに出る音からついた名。先日、谷津山のふもとにある静岡県護国神社で植物の観察会を行ったところ、ヤマモモ、ナギ、オガタマノキ、シヤガなど四十種を超える植物を記録しました。その中にイスノキも数本あることがわかりました。昭和十五年にできた護国神社は、明治の日清、日露戦争からの戦没軍人を祀り、軍人の遺族、県民からの献木を中心とした木の森ができています。いま、八十年を経て立派な森に成長しており、今後も県民の平和を祈るシンボルとして永く守られることでしょう。



(上)イスノキの果実
(右)虫こぶの笛。
果実ではない

今日の公園！



来年の開花も大いに期待！

お知らせ！

- 十二月の公園整備は十二日（日）です。施肥、落ち葉収集、雑草取り、
- 十二月の回収、ビン・缶は二十八日（火）、古紙は二十六日（日）です。自治会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在十九名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずごなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで